

入学時期:	4月生	学科:	教養重点科	コース:	2年	クラス	B
科目名:	<b>判断推理</b>					年次:	<b>1年次</b>
担当者:	山口 祥平 (実務経験あり)	単位:	7単位	授業時間:	105時間		

### ■授業概要・方法等

判断推理は教養試験(基礎能力試験)で出題される科目で、論理的思考力、推理力、判断力など一般知能を試す科目である。公務員の業務においても様々な情報を整理し、先のことを予測・判断する力が必要となる。本科目では、「文章問題」、「空間把握」と大きく2つに分け、文章中の条件や、イメージするしかない図形の情報を中心に整理するのか、例題の解説と演習問題を通して身につけていく。また、大学職員だった科目担当者が当時関わった事案を元に、実際に働く現場で、どのような情報を整理するのも考えたい。

### ■学習・教育目標及び到達目標

条件を分析し、どのようにすれば正確に整理できるのかを基礎的な知識を活用して考え、大学卒業程度の試験も対応できるようになる。

### ■成績評価方法および基準

- ・ 出席状況・・・ 60% ※出席状況は不定期で行うレポートの提出により評価する。
- ・ 確認テスト・・・ 40% ※確認テストの合計点を40点満点に換算する。

合否	合格			不合格
評価	A	B	C	不可
評点	100～80	79～70	69～60	59～0

### ■教科書

『基礎総演習【文章問題】』、『基礎総演習【空間把握】』(本校独自)  
『初級分野別過去問 No.1 文章問題』、『初級分野別過去問 No.2 空間把握』(本校独自)  
『初級 文章問題(復習)』、『初級 空間把握(復習)』(本校独自)  
他、試験種別過去問

### ■授業計画の内容

#### 時間割上の科目名:【判断】

(1～61時間) 時期:4月～7月末

『基礎総演習』、『初級分野別過去問』を用いて、考え方の基礎を理解しながら演習問題を解く。

(62～87時間) 時期:8月～10月

各試験日程に合わせ、『試験種別過去問』を用いて、様々な問題の解き方を学ぶ。

(88時間～) 時期:11月～3月

『初級 文章問題(復習)』、『初級 空間把握(復習)』を用いて、基礎的な考え方を確認する。

※ 内容について【文】は文章問題、【空】は空間把握のテキストを用いる。

時 数	内 容
1 ～ 4	【文】命題／対応関係
5 ～ 7	【文】対応関係／【空】軌跡
8 ～ 12	【空】軌跡／展開図
13 ～ 13	【空】展開図
14 ～ 16	【空】サイコロ
17 ～ 21	【文】比較・順序／位置
22 ～ 24	【空】立体図形の分割・構成／平面図形の分割・構成
25 ～ 28	【空】平面図形の分割・構成／【文】嘘つき
29 ～ 30	【文】嘘つき／試合と勝敗
31 ～ 33	【文】試合と勝敗／方位
34 ～ 36	【空】立体の切断
37 ～ 43	【空】串刺し／投影図／投影図／着色問題
44 ～ 46	【空】陰影／【文】暗号
47 ～ 50	【文】暗号／手順とゲーム／その他の問題
51 ～ 55	【文】その他の問題／【空】位相／折り紙
56 ～ 58	【空】回転体／その他の問題
59 ～ 61	【空】その他の問題
62 ～ 65	《過去問》国家一般
66 ～ 68	《過去問》国家一般
69 ～ 72	《過去問》国家一般
73 ～ 75	《過去問》刑務官
76 ～ 80	《過去問》入国海保
81 ～ 87	《過去問》警察官
88 ～ 102	(復習)文章問題
103 ～	(復習)空間把握

## ■履修にあたっての注意事項

- ・ レポート、確認テストの欠席について
  - …レポート配付時、または確認テスト実施時に欠席していた場合、以下の条件を満たしている場合には、レポートの再配付および確認テストの追受験を認める。
    - ① 事前に学校に連絡があること。
    - ② 欠席の理由が正当な理由として認められること。
 正当な理由：病気(ただし、病院に行ったことを証明できる場合)、忌引き、受験

## ■その他